

中国 5 県における地域格差及び所得格差による課題を解決し、
暮らし続けられる地域をつくる事業

公 募 結 果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	特定非営利活動法人湯来観光地域づくり公社
代表者名	理事長 佐藤 亮太
申請事業名 主題	湯来町の課題を解決する、収益性の高い観光モデル構築事業
申請事業名 副題	アドベンチャーツーリズムと温泉街再生を切り口に
エリア／テーマ	【広島県エリア】 「ひと」「しごと」「地域資源」等の好循環モデル形成
解決すべき社会課題	【領域】 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 【分野】 ⑥ 地域の働く場づくりの支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	湯来町の衰退・人口減は、主要産業の「収益性の悪さ」、「人材不足」、「アクセスの悪さ」等が要因となり、ここ 15 年で人口は約 7800 人→約 5700 人と 2000 人以上減っている。そうした現状に対し、本事業を活用して、収益性の高い観光のモデルを構築することで、湯来町に包括的な地域経済循環を創出していこうというプロジェクトである。湯来町は、広島市中心部から 1 時間圏内という近接性と、美しい自然が残っている。その自然を活用し、・広島市の主要観光客である欧米・オセアニア人に対するアドベンチャーツーリズム事業・広島の企業の課題を解決する、研修事業・湯来を知らない若者と外国人観光客をターゲットにした、湯来町周遊サイクルツアー事業・温泉街再生に向けた、学生とコラボした飲食店立ち上げ事業の 4 つの事業を立ち上げ、・収益性を高め、雇用を創出し、湯来に住む若者世代を増やす。・町内の事業者には収益が還元され、事業承継が可能となることで U ターンを増やす。 この事業を成功させるため、町内・市内の専門性を持った人材が集って湯来町を応援する仕組みを作り、専門家の知見やノウハウを活用して、事業を更にブラッシュアップ・スピードアップさせていく。
事業実施地域	広島市佐伯区湯来町
申請事業期間	資金提供契約締結日より 2023 年 3 月まで
申請助成額	1,000 万円

■ 審査コメント

- ✓ 山や川の自然資源とともに、指定管理を受けた湯来ロッジ・交流体験センターという拠点施設を資源として、自然体験プログラムを実行する基盤はある。
- ✓ 地域コミュニティの核となる学校の統廃合を食い止めようとする視点や、町村合併による周辺地域の衰退を解決しようとする目論見は重要で、仕事と若い人をうまく取り込む本事業が成功すれば、同様の課題を抱えた各地の中山間地域活性化の一つのモデルになると思う。
- ✓ 広島市への合併による弊害を逆手にとって、広島市の事業所や学生団体など多様な活動団体との連携、さらには外部人材との連携も図られている点は、地域外からのエネルギーを地域活性化の循環に取り込もうとしており評価できる。
- ✓ これまでUターン、リターンしてきた人材の良い例もあり、それを目に見えるモデルにできることは、さらなるUターン者も引き込むことを可能にする。
- ✓ 地域の名産、観光資源の温泉街再生等、ツアー顧客獲得に向けた取組みは評価できます。
- ✓ 新たな事業を模索するため、積極的な取組みを評価します。
- ✓ 事業目的となっている解決したい地域課題と本プランで実施する事業の内容(手段)が合致しており、また、これまでの事業実績も有していると考えます。
- ✓ 本事業でも地域全体の課題に目配りを行っているが、それを自団体のリソースで展開可能なフレームに置き換えたうえで、展開の外部にある課題にリンクさせる仕組みが構想されている点に好感をもった。
- ✓ 実施する事業の事業設計についても、「団体内外のプレイヤー」「顧客ターゲット」「マネタイズの仕組みと単価設定」「持続可能な人材の育成」などが活動単位でデザインされており、成果の達成に期待がもてる。
- ✓ 観光を軸に置いた申請だが地域や地域の子もたちのこともしっかりと考えられていると感じた。
- ✓ 地域に長く暮らしている人々は、しがらみなどで新しいチャレンジができない。よそ者若者馬鹿者、ここを期待したい。
- ✓ 移住してきたからこそその発想が面白い。地元で暮らしている人に限定しない、活動人口、関係人口、プレイヤーの多様化のイメージを持っているように思えた。資金分配団体による伴走支援については、この部分にも留意して伴走していただきたい。
- ✓ 学校がなくなる、合併する、そうなると周辺地域は生き残っていけない。本事業が成功することは良いモデルになると考える。
- ✓ 温泉街再生に向けた飲食店事業の企画運営が、学生団体に任されている点は評価できるとしても、学生団体が持続的に地域に関与していく仕組みづくりが不可欠である。
- ✓ 収入に対して人件費、旅費交通費等の占める割合が高くなる懸念があります。早期に安定継続的な観光モデルの確立が必要と考えます。
- ✓ 地域づくり系の活動は、地域社会全体の課題に着目することが活動の動機になるケースが多いため、課題解決テーマや達成目標を大きく構える傾向がある。しかし、地域事業は、持続可能なスケールでの小さくはじめ、育てる発想が成功要因といえる。
- ✓ 3つのエリア又広島県エリアのテーマ、解決すべき社会の諸課題、実行団体に期待する活動概要

とマッチしているといい難い。

- ✓ 現在実施している取り組みは評価できるが、それらが事業収益の柱になっているか気になる。
- ✓ 実施する活動がきちんと収益につながるのかが気になる。お金を地域に循環させていくことができるのか。
- ✓ 収益に対する費用の妥当性については確認をいただき適正なものにしていただきたい。